

情報探索支援ツール「リッテルナビゲーター」のご案内 新しいタイプのレファレンス支援サービス

リッテルナビゲーターは、図書館利用者のための新しいタイプの情報探索支援ツールです。調べごとのヒント、気づきのきっかけとなる多面的なカテゴリー情報や関連キーワードを視覚的に提示し、各種情報源での検索に連携します。利用者が楽しみながら情報探索のリテラシーを身に付けられる、学生・一般利用者に最適の Web サービスです。

◆リッテルナビゲーターによる探索例◆

①調べたい言葉を入力すると、その言葉に関するカテゴリー情報の繋がりを「テーマグラフ」として図示します。(図1)



(図1)

テーマグラフは、ボトムアップ式に生成される Wikipedia のカテゴリー情報 (フォークソミー) と、トップダウン式に構築されている図書館分類体系・各種件名標目 (タクソミー) を独自に組み合わせ生成されます。Web の世界のスケーラビリティと図書館分類体系が持つ組織化された知識の階層構造を統合的に活用できるユニークなサービスです。

テーマグラフ中の分類ワードをクリックすると、その言葉を中心に図形が変化します。繋がりの範囲を広げて表示することも可能です。(図2)

(図2)



カテゴリータグでは、関連の高い順に分類情報 (NDC コード、関連件名) を表示。NDC コードをクリックすると分類番号で OPAC 検索を行い別ウィンドウで結果を表示します。関連件名から新たなテーマグラフを表示します。(図3)

(図3)



(図4)

関連ワードはタグクラウドの形で表示します。表示された語をクリックすると、その語による新しいテーマグラフが表示されます。(図4)



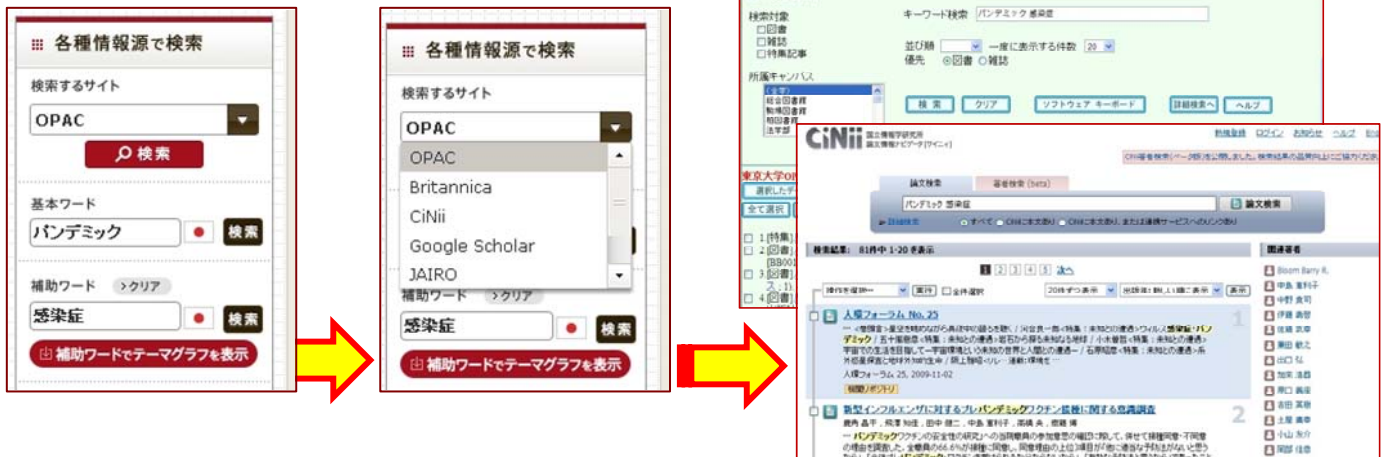
◆リッテルナビゲーターから各種データベースを検索◆

1. 導出された基本ワードと
補助ワードを使って…

2. プルダウンメニューから
情報源を選択して検索！

3. 検索結果は別ウィンドウで表示されます。

(図 5)



PORTA (国立国会図書館デジタルアーカイブポータル)や Wikipedia 等の検索結果も表示できます。(尚、Wikipedia へのリンクは非表示設定も可能)



導出される多様なキーワードを使って、そのまま図書館 OPAC やオンラインデータベースなど各種の情報源を直接検索することが出来ます。検索結果はそれぞれの情報源ごとに別ウィンドウで表示されます。(図 5) OPAC をはじめ図書館が利用提供している各種情報リソースの一層の利用促進と活用が図れます。

◆ご利用料金◆

大学・教育機関向けのご利用料金は、学生数規模に応じた年間利用料金(210,000 円～※)と初期設定費から成ります。公共図書館向けの価格設定もごさいます。(※2010年4月時点の料金です。詳しくはお問い合わせ下さい。)

◆株式会社リッテルについて◆

サービス提供元の株式会社リッテル(<http://www.littel.co.jp/>)は、東京大学の産学連携企業です。リッテルナビゲーターは東京大学情報基盤センター図書館電子化研究部門の自然言語処理に関する研究成果を元に開発されたサービスです。

無料のトライアル ID/PW を 1 カ月間ご提供可能です。リッテルナビゲーターのお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部(電話：03-6910-0518、ファクス：03-6420-1356、e-mail：online@kinokuniya.co.jp)までお願い致します。

*お預かりした個人情報、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。